



Sun StorageTek™ Common Array Manager ソフトウェア リリースノート

Release 5.0.2

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-7449-10
2006 年 10 月, Revision 01

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun StorEdge, Java, Sun StorageTek, および Solstice DiskSuite は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Legato Networker は、Legato Systems Inc. の登録商標です。

Netscape Navigator および Mozilla は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の商標および登録商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun StorageTek Common Array Manager Software Release Notes Part No: 820-0112-10 Revision 01
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------



目次

Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアリリースノート	1
このリリースの機能	2
Common Array Manager ソフトウェアの機能	2
サポートされるアレイ	3
サポートされるプラットフォーム	3
リリースの内容	3
システム要件	4
管理ホストのシステム要件	4
リモートスクリプト CLI クライアントのサポート対象プラットフォーム	5
サポートされる Web ブラウザ	5
サポートされる言語	6
パッケージとパッチのインストール	6
準備	7
ファイル容量の要件	7
Common Array Manager ソフトウェアのインストールとアップグレード	8
▼ アレイのファームウェアをアップグレードする	8
既知の問題点	9
Common Array Manager に固有の問題点	9
インストールに関する問題点	13
Solaris OS 10 に関する問題点	14

ストレージの構成に関する問題点	15
▼ 電源ファン部品を取り外し、交換する	15
マニュアルの問題点	17
ローカライズ版の問題点	18
運用に関する情報	19
リリースマニュアル	20
ファームウェアファイル	20
サービスに関するお問い合わせ先	23
Sun 以外の Web サイト	24
A. Windows へのユーザーの役割の追加	25
管理者ユーザーの追加	25
新しいユーザーの追加	29

表目次

表 1	管理ホストのプラットフォーム	3
表 2	Host CD の内容	3
表 3	管理ホストのシステム要件	4
表 4	リモート CLI クライアントのプラットフォーム	5
表 5	サポートされる Web ブラウザ	5
表 6	6130 アレイとディスクのファームウェア	21
表 7	6140 アレイとディスクのファームウェア	22
表 8	6540 アレイとディスクのファームウェア	23

Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアリリースノート

この文書には、Sun StorageTek™ Common Array Manager ソフトウェアの release 5.0.2 に関する重要な情報、または製品マニュアルの公開時には入手できなかった情報が記載されています。この文書をお読みになり、Common Array Manager ソフトウェアのインストールおよび動作に影響を与える可能性がある問題や要件を確認してください。

ここでは、Sun StorageTek Common Array Manager Software 5.0.2 CD に収録されているソフトウェアについて説明しています。

このリリースノートは、次の節で構成されます。

- 2 ページの「このリリースの機能」
- 4 ページの「システム要件」
- 6 ページの「パッケージとパッチのインストール」
- 9 ページの「既知の問題点」
- 19 ページの「運用に関する情報」
- 20 ページの「リリースマニュアル」
- 20 ページの「ファームウェアファイル」
- 23 ページの「サービスに関するお問い合わせ先」
- 24 ページの「Sun 以外の Web サイト」

このリリースの機能

この節では、次の各項で Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアの主な機能について説明します。

- 2 ページの「Common Array Manager ソフトウェアの機能」
- 3 ページの「サポートされるアレイ」
- 3 ページの「リリースの内容」

Common Array Manager ソフトウェアの機能

Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアは、Sun StorageTek ストレージアレイを構成、管理、および監視する使いやすいインタフェースを提供します。

Release 5.0.2 の新機能

- SATA ドライブのサポート
- ローカライズ版ファイル

Common Array Manager ソフトウェアには、次の機能が含まれます。

- アレイ管理用のグラフィカルユーザーインタフェース (GUI)
- スクリプトの操作および GUI を使用しない設定管理用のコマンド行インタフェース (CLI)
- ストレージプール
- ストレージプロファイル
- ストレージドメイン
- 物理と論理間のマッピング
- デバイス設定
- 健全性の監視と障害管理
- 予測障害分析
- 予防保守のための監視
- 問題の通知
- コンポーネント診断
- トラブルシューティングと回復の手順
- システムレベルの検証
- 保守ガイダンス

サポートされるアレイ

Common Array Manager ソフトウェアでは、次の Sun ストレージシステムがサポートされています。

- Sun StorageTek 6130 アレイ
- Sun StorageTek 6140 アレイ
- Sun StorageTek 6540 アレイ

サポートされるプラットフォーム

この管理ソフトウェアは、表 1 に示すプラットフォームで使用できます。

表 1 管理ホストのプラットフォーム

プラットフォーム	オペレーティングシステム
SPARC サーバーまたはワークステーション、または Solaris x86	Solaris 8 OS 4/01 Solaris 9 OS 8/03 Solaris OS 10
Windows サーバー	Windows 2000 Service Pack 4 以降 Windows 2003 Service Pack 1 以降 Windows XP Service Pack 2 以降

リリースの内容

表 2 に、このリリースに含まれるソフトウェアのバージョン情報を示します。

表 2 Host CD の内容

タイプ	バージョン
Common Array Manager	5.0.2.1
リモートスクリプト CLI クライアント	2.1.4
Java Web Console ソフトウェア	2.2.5
Java2 Software Development Kit	1.4.2
20 ページの「ファームウェアファイル」に示すファームウェアファイル	

システム要件

Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアで動作することをテストし、確認されたソフトウェア製品とハードウェア製品について、次の各項で説明します。

- 4 ページの「管理ホストのシステム要件」
- 5 ページの「リモートスクリプト CLI クライアントのサポート対象プラットフォーム」
- 5 ページの「サポートされる Web ブラウザ」
- 6 ページの「サポートされる言語」

管理ホストのシステム要件

管理ソフトウェアが存在する管理ホストは、表 3 に示すシステム要件を満たす必要があります。

表 3 管理ホストのシステム要件

ホストシステムの特徴	要件
プラットフォームとオペレーティングシステム (OS)	次のいずれかを使用している SPARC サーバーまたはワークステーション、または Solaris x86 <ul style="list-style-type: none">• Solaris 8 OS 4/01• Solaris 9 OS 8/03• Solaris OS 10 次のいずれかを使用し、システムドライブに 800M バイトの容量がある Windows サーバー <ul style="list-style-type: none">• Windows 2000 Service Pack 4 以降• Windows 2003 Service Pack 1 以降• Windows XP Service Pack 2 以降
ディスク容量	930M バイト (Solaris)、800M バイト (Windows) ディスク容量の詳細な要件については、7 ページの「ファイル容量の要件」を参照してください。
CPU	Solaris: UltraSPARC 3 以上 (750 Mhz) Windows: 1.5 Ghz PC
最小メモリー (2 アレイ、2 ユーザー)	512M バイトの共有メモリー

リモートスクリプト CLI クライアントのサポート 対象プラットフォーム

リモートスクリプト CLI クライアントによって管理ホストにコマンドが送信され、この管理ホストによってアレイにコマンドが送信されます。表 4 に、CLI クライアントを実行できるリモートプラットフォームを示します。

表 4 リモート CLI クライアントのプラットフォーム

OS	バージョン
Solaris 8 SPARC	4/01
Solaris 9 SPARC	8/03
Solaris 10 SPARC	
Solaris 10 x86	
Windows 2000 Server	Server (SP4) および Advanced Server (SP4)
Windows Server 2003	Standard/Web/ Enterprise Edition
Windows XP	
Red Hat Linux	3.0、4.0
SuSE Linux	8.0、9.0
IBM AIX	5.2、5.3
HP-UX	B.11.23、B.11.11

サポートされる Web ブラウザ

Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアでは、表 5 に示す Web ブラウザがサポートされています。

表 5 サポートされる Web ブラウザ

ブラウザ	最低バージョン
Netscape Navigator	6.2
Mozilla	1.4
Firefox	1.0
Microsoft Internet Explorer	5.5

注 – ソフトウェアを使用するには、Web ブラウザでポップアップウィンドウを有効にする必要があります。

注 – ブラウザの構成によっては、プロキシの設定を無効にしないと、ブラウザがハングアップしたり、タイムアウトしたり、間違ったエラーメッセージを生成したりする可能性があります。このような問題を避けるには、Common Array Manager のホストに対して「プロキシなし」を指定してください。一部のブラウザでは「設定」>「詳細」>「プロキシ」を選択し、CAM 管理ホストのホスト名を「プロキシなし」セクションに追加します。

サポートされる言語

Sun StorageTek Common Array Manager のオンラインヘルプおよびブラウザユーザーインターフェースは、次の言語で使用できます。

- 英語
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語
- 日本語
- フランス語
- 韓国語

コマンドラインインターフェースは、次の言語で使用できます。

- 英語
- 日本語

パッケージとパッチのインストール

アレイの設置手順は『Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアインストールマニュアル』(Part No. 819-7081-nn) で説明しています。この節では、実行すべきファームウェアと管理ソフトウェアのパッチのアップグレードに関するリリース固有の手順について説明します。

- 7 ページの「準備」
- 7 ページの「ファイル容量の要件」

- 8 ページの「Common Array Manager ソフトウェアのインストールとアップグレード」

準備

Sun の管理ソフトウェアは Sun StorageTek Common Array Manager Software CD で配布されています。CD のインストールスクリプトによって、ホスト要件が確認されます。具体的には、インストールスクリプトの実行前に、800M バイト以上のディスク空き容量があることが確認されます。アップグレードを実行する前に、次の作業を行ってください。

- ストレージドメインを含むすべての上級機能のライセンス証明書があることを確認します。上級機能を使用するにはライセンスを取得する必要があります。
- アップグレードの手順をよく読みます。
- Sun StorageTek Common Array Manager Software CD にあるアップグレードプログラムを使用するか、Sun Download Center からダウンロードします。
<http://www.sun.com/download/>
(「Systems Administration」 > 「Storage Management」からダウンロード)。
- root (Solaris) または管理者 (Windows) で管理ホストにログインします。

インストールの問題が発生した場合は、ディスク空き容量を確認してください。次に、システムログ `/var/sadm/install/se6000/se6000_Host_SW.log` で詳細を調べてください。

要件を満たしていない場合は、スクリプトによって通知され、適切な領域がクリーンアップされます。スクリプトによって入力が求められます。または、システムで次のいずれかが検出された場合、スクリプトはエラーで終了します。

- プリインストールバージョンの Sun Storage Automated Diagnostic Environment、または sscs CLI
- オペレーティングシステムまたはソフトウェアのサポートされていないバージョン
- ディスク容量の不足

ファイル容量の要件

CD またはダウンロードしたファイルから展開したときのインストールファイルの合計サイズは、約 800M バイトです。管理ホストのソフトウェアが正常にインストールされるには、Windows プラットフォームでは 800M バイトの空き容量が必要です。Solaris では、次の空き容量が必要です。

- root - 10M バイト
- /tmp - 100M バイト

- /usr - 20M バイト
- /var - 500M バイト
- /opt - 300M バイト

Common Array Manager ソフトウェアのインストールとアップグレード

アレイおよび管理ソフトウェアをインストールする場合は、『Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアインストールマニュアル』のインストール手順と構成手順をすべて行なってください。

初期インストールおよび構成後は、管理ソフトウェアとファームウェアの各リリースへのアップグレードが可能になります。

RunMe ウィザードを実行すると、旧バージョンが検索され、新規インストールが必要であるか、アップグレードが必要であるかが判別されます。インストール済みの旧バージョンが検出されなかった場合は、新規インストールが実行されます。Array Manager ソフトウェアのアップグレード手順は、『Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアインストールマニュアル』で説明しているソフトウェアのインストール手順と同じです。アップグレードを行うときは、既存のソフトウェアをアンインストールする必要はありません。インストーラによって、ファームウェア更新バンドルもホストサーバーにインストールされます。アレイのファームウェアをアップグレードする手順については、8 ページの「アレイのファームウェアをアップグレードする」を参照してください。

▼ アレイのファームウェアをアップグレードする

ここでは、管理ホストにあるファームウェアのバイナリをアレイにダウンロードし、アレイで実行しているファームウェアをアップグレードする手順を示します。既存のファームウェアをアンインストールする必要はありません。管理ソフトウェアからファームウェアをアップグレードすることもできます。

1. Java Web Console のページで、「Sun StorageTek Common Array Manager」をクリックします。
2. 「ストレージシステムの概要」ページを表示し、アップグレードするアレイを選択します。
3. 「ファームウェアのアップグレード」ボタンをクリックします。
4. 画面の指示に従います。

注 - すべてのアラームが削除されるまで、アレイは「機能縮退」のままになります。

既知の問題点

次の各項では、今回の製品リリースに関する既知の注意事項と問題点 (バグ) について説明します。

- 9 ページの「Common Array Manager に固有の問題点」
- 13 ページの「インストールに関する問題点」
- 14 ページの「Solaris OS 10 に関する問題点」
- 15 ページの「ストレージの構成に関する問題点」
- 17 ページの「マニュアルの問題点」
- 18 ページの「ローカライズ版の問題点」

バグに対して利用できる推奨回避策がある場合は、バグの説明のあとに示されます。

Common Array Manager に固有の問題点

コントローラのリセットに関するサービスアドバイザの手順の誤り

バグ 644210 - コントローラの回路遮断器をリセットするサービスアドバイザの手順に次の誤りがあります。

- 手順 5: スペルの間違い
- 手順 6: 「Is」は正しくは「If」
- 手順 6: 左の電源ファンは「B」というラベルで、右は「A」というラベルなので、「Left and right are determined when facing the control module from the front.」(左右は、正面から制御モジュールに向かって見た場合です。) という文は紛らわしい。
- 手順 10 と 15: 電源ケーブルを追加する手順が抜けている。

zh ロケールのインストール結果ページの文字が正しく表示されない

バグ 6444324 - zh (中国語) ロケールで、インストールの終了時に結果ページの文字が正しく表示されません。

取り外しと交換に関するサービスアドバイザの手順に誤りがある

バグ 6448643 - ディスクドライブ部品の取り外しと交換に関するサービスアドバイザの手順に次の誤りがあります。

- 手順 4a: 「View securing the front of the tray illustration」(トレイの正面固定の図を表示します)。この手順は不要になりました。

バッテリーの取り外しまたは障害の通知が繰り返される

バグ 6419579 - バッテリーで障害が発生するか、バッテリーを取り外すと、この問題がアラームと電子メールの通知で複数回報告されます。

ファブリック内のゾーンのイニシエータの追加と削除が動的に検出されない

バグ 6329784 - ファブリック内のゾーンのイニシエータを追加または削除したときに、Configuration Service ソフトウェアで変更が動的に検出されません。SAN に新しく追加したイニシエータの WWN が表示されません。

回避策 - 新しいイニシエータの WWN が「新規イニシエータ」ページのドロップダウンリストにない場合は、新しい WWN を手動で入力してイニシエータを作成してみます。この操作でページの表示が強制的に更新されます。別の新しいイニシエータを作成すると、WWN がリストに追加されます。

ヘルプボタンがセッションを妨害する

バグ 6356119 - オンラインヘルプのウィンドウがはじめて表示される時、アプリケーションからユーザーがログアウトされる場合があります。

回避策 - メインの Java Web Console ページから再びアプリケーションにログインします。

「バイパス中」状態のドライブに関連付けられているボリュームが「なし」と表示される

バグ 6371462 - スイッチの設定 2 Gbps または 4 Gbps は、ディスクドライブへの内部 FC データパスの速度です。2 Gbps のドライブを 4 Gbps に設定すると、ドライブの状態が「バイパス中」になります。

「バイパス中」状態のドライブにあるボリュームは「なし」と指定され、プールの割り当てが失われます。これらのボリュームは別の「Ghost Volumes」リストに表示され、最小限の情報だけが保持されます。

GUI でトレイ ID を変更すると誤ったエラー通知が表示される

バグ 6416680 - Common Array Manager ソフトウェアを使用してトレイ ID を変更すると、コンポーネントが新しいコンポーネントに置き換わったように見えます。

回避策 - トレイ ID を変更しないでください。どうしてもトレイ ID を変更する必要がある場合は、アラームが表示されることを理解し、アラームが表示されたら削除します。

ファームウェアのアップグレード後、luxadm で間違ったパス情報が表示される

バグ 6403778 - ファームウェアのアップグレード後、Solaris の luxadm で、一次パスが表示されず、二次パスが 2 つ表示されます。

回避策 - luxadm コマンドを使用して一方のパスを一次パスにリセットします。

処理数が多いとタイムアウトになるか、関連するエラーが発生する

バグ 6443960、6431092、および 6433655 - 長時間実行されるジョブや、多数の処理が実行されるジョブが原因で、GUI がタイムアウトになり、ユーザーが再びログインする必要がある場合があります。このような場合、GUI がタイムアウトになっても、処理は終了するまで実行されます。同様に、優先順位が低いジョブが、優先順位が高いジョブよりも前に実行される場合があります。多数のボリュームを一度にマッピングするときは、ジョブによるボリュームのマッピング中に、完了していないジョブが「ジョブの概要」に表示されない場合があります。

回避策 - これらはすべてインタフェースが、実行されている処理数に対処できないことが原因です。処理が完了したら、インタフェースに再びログインし、実行されていた処理に関連するコンポーネントを確認してください。

再構築が完了する前にボリュームの機能縮退のアラームが解除される

バグ 6442500 - 障害が発生したドライブを交換後、ボリュームの再構築が完了する前にボリュームの機能縮退のアラームが解除されます。

回避策 - 障害の発生したドライブを交換後、「ボリュームの概要」ページで関連するボリュームの状態を確認し、再構築が実行中であるかどうか、またボリュームが「良好」状態に戻ったかどうかを確認します。

ログインのタイムアウト後、ログインページがブラウザのメインフレームにリダイレクトされる

バグ 6413457 - ブラウザが2つ開いていて、一方のユーザーがログアウトしたあとで他方のユーザーがブラウザで何らかの操作を行うと、ログインページが単独のウィンドウではなくブラウザのメインコンテンツのフレームにリダイレクトされます。この問題は、1人のユーザーのログインがタイムアウトした場合にも発生します。この問題が発生した場合、ユーザーはアプリケーションを再起動する必要があります。

回避策 - マストヘッド (ブラウザのトップのフレーム) で「コンソール」ボタンをクリックします。ブラウザに Web Console のページが再表示されるので、管理ソフトウェアのリンクをクリックしてアプリケーションを再起動します。

現在のファームウェアに表示される入出力モジュールのファームウェアが重複している

バグ 6427632 - 「ストレージシステムの登録」ページで、入出力モジュールのファームウェアが2回表示されます (重複している)。表示は間違っている、アレイのファームウェアのアップグレードは正常に終了しています。

回避策 - 重複する項目は無視します。

右クリックでコンポーネントを開くとエラーが発生する

バグ 6429827 - コンポーネントを右クリックして新しいウィンドウを開こうとすると、システムエラーが発生したり、間違ったページが表示されたりすることがあります。正しいページが表示される場合もあります。

回避策 - 右クリックは使用しないでください。

マッピング解除イベントがログファイルに出力されない

バグ 6433654 - 正常に終了したマッピング解除イベントが管理ホストのログファイルに出力されません。

回避策 - ブラウザインタフェースまたは CLI を使用してボリュームがマッピングされているかどうかを確認します。

複製セットで二次ボリュームが認識されない

バグ 6266943 - 以前ホストによって認識されていた (format コマンドを使用) ボリュームが複製セットの二次ボリュームになると、「drive type unknown」と示されます。この二次ボリュームは読み取り専用デバイスとして指定してください。

回避策 - 二次ボリュームには、新しい (ラベルの付いていない) ボリュームを使用します。既存のボリュームは使用しないでください。

インストールに関する問題点

この項では、Common Array Manager のインストールに関連する問題点について説明します。

最初のインストールで登録用のページが表示される

はじめて Common Array Manager ソフトウェアをインストールする際、ブラウザ ユーザーインターフェイスにログインすると登録用のページが表示されます。続ける前に情報を入力してください。

Windows へのインストール手順の追加

バグ 6462253 - Windows プラットフォームに Common Array Manager をインストールする手順の最後で、次のレジストリ編集を行い、ゲストユーザーを無効にしてください。この操作を行わないと、ユーザーはログインできません。

注 - Regedit は、熟練の PC 管理者が実行する必要があります。編集する前にレジストリのバックアップを行なってください。

Regedit を実行し、次のレジストリ値を 0 に設定します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Lsa\  
ForceGuest
```

Windows ファイアウォール

Windows 管理ホストでファイアウォールを設定するには、インストールの完了後にポート 6789 の例外を許可する必要があります。この操作を行わないと、Common Array Manager はファイアウォールを介して使用できません。一部のファイアウォールプログラムでは、ファイアウォールを介して新しいプログラムが通信できるようにするかどうかを確認するメッセージが表示され、ポートが設定されます。ファイアウォールを介してポートを開く方法については、ファイアウォールのマニュアルを参照してください。

管理者名に空白文字が含まれるとエラーが発生する

バグ 6458282 - ユーザー名に空白文字が含まれる Windows 管理ユーザーがインストーラを実行すると、任意のユーザーがログインしようとしたときにシステムエラーが発生し、ログインに失敗します。

回避策 - インストーラは、ユーザー名に空白文字が含まれない管理ユーザーが実行してください。

Solaris OS 10 に関する問題点

この項では、Solaris OS 10 の非互換性に関連する問題点について説明します。

マルチバイトのロケールの Solaris 10 で障害管理に失敗する

バグ 6450647 - Common Array Manager の障害管理サービスは、マルチバイトのロケールで動作する Solaris 10 システムで実行できません。このサービスはデフォルトの C ロケールで使用する必要があります。

回避策 - マシンのロケールをデフォルトの C ロケールに変更します。変更できない場合は、次のコマンドを実行します。

1. `cd /opt/SUNWsefms/sbin`
2. `ln -s wrapper-solaris-sparc-32 wrapper`
3. `svcadm clear fmservice`
4. `svcadm enable fmservice`

x86 Solaris マシンでは、2 番目の手順は次のようになります。

`ln -s wrapper-solaris-x86-32 wrapper`

Solaris 10 で Java コンソールをアップグレードできない

バグ 6442868 - Java コンソールは CAM インストールの一部としてアップグレードできないため (Java コンソールは大域ゾーンへのインストールが必要)、Java コンソールのアップグレードが必要な場合は、Common Array Manager 5.0 を Solaris 10 の非大域ゾーンにインストールできません。

回避策 - 大域ゾーンで Java コンソールを 2.2.5 にアップグレードしてから、Common Array Manager をインストールします。Java Console 2.2.5 のパッケージは、展開した CAM ディストリビューションの `/var/opt/CommonArrayManager/Host_Software_5.0.0.xx/components/lockhartSolaris` からアクセスできます。

lockhartSolaris にある設定スクリプト (Common Array Manager インストーラの設定スクリプトではない) を使用してコアパッケージをインストールします。各言語対応版パッケージは手動でインストールする必要があります。

ストレージの構成に関する問題点

この項では、ストレージの構成に関する既知の問題点 (バグ) と注意事項について説明します。

「冗長ディスクスクラブ有効」パラメータを変更できない

バグ 6408489 - ソフトウェアで「ディスクスクラブ有効」パラメータが「偽」に設定されているときに「冗長ディスクスクラブ有効」パラメータを「真」から「偽」に設定すると、ページでは正常に変更されたことが表示されますが、「ディスクスクラブ有効」の値は「偽」のままです。CLI でこの変更を行った場合は、メッセージが表示されずにプロンプトが戻りますが、ディスクスクラブの設定は前と同じです。

アレイをロックしても広範囲に通知されない

バグ 6246249、6335727 - 複数の管理ステーションからアレイにアクセスしているときに、アレイがロックされていることをユーザーに通知する予約メッセージはありません。また、保守のためにホストが予約されるときにも通知されません。

回避策 - 同じアレイにアクセスしている可能性があるほかの管理ステーションのユーザーに、アレイの処理が控えていることを伝え、別のホストから設定が変更されないようにします。

サービスアドバイザに記述されている電源ファンの取り外しと交換の手順は、コントローラモジュールに適用されるが、拡張モジュールには適用されない

バグ 6444767 - サービスアドバイザに記述される電源ファンの取り外しと交換の手順は、コントローラモジュールには適用されますが、拡張ユニットには適用されません。

回避策 - 6540 アレイの拡張モジュール内の電源ファンモジュールを交換するには、次の手順に従います。

▼ 電源ファン部品を取り外し、交換する

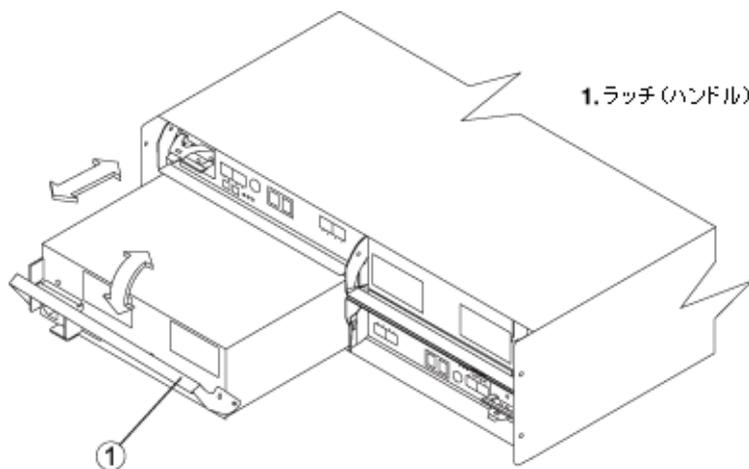
1. 背面から見たときに、電源ファン部品 A はトレイの右上隅に、電源ファン部品 B はトレイの左下隅にあります。

2. 障害 LED を確認して、障害の発生した電源ファン部品を特定します。障害が検出された場合、要保守作業 LED (オレンジ) が点灯し、保守作業可能 LED (青) が点灯します。



注意 – データにアクセスできなくなる可能性があります。電源ファン部品を取り外すときは、必ず保守作業可能 LED (青) が点灯していることを確認してください。

3. 障害の発生した電源ファン部品の電源スイッチを「Off」の位置にします。
4. 障害の発生した電源ファン部品から電源コードを取り外します。
5. 電源ファン部品 A を交換する場合は、ラッチ (ハンドル) を上げて電源ファン部品のロックを解除してから、電源ファン部品をトレイから引き出します。電源ファン部品 B を交換する場合は、ラッチ (ハンドル) を下げて電源ファン部品のロックを解除してから、電源ファン部品をトレイから引き出します。



注 – この図は、電源ファン部品 B の取り外しまたは交換を示します。正しい電源ファン部品の取り外しまたは交換を行うように注意してください。

6. 新しい電源ファン部品を開梱し、障害の発生した電源ファン部品を返品するときのために梱包材を取っておきます。新しい電源ファン部品または障害の発生した電源ファン部品の扱いには注意してください。
7. 新しい電源ファン部品の電源スイッチが「Off」の位置にあることを確認します。
8. 新しい電源ファン部品を挿入してミッドプレーンのコネクタに接続し、ラッチ (ハンドル) をロックの位置まで押します。

9. 新しい電源ファン部品に電源コードを差し込みます。
10. 電源スイッチを押して「On」の位置にします。
11. 緑色の電源ファンの LED が点灯します。点灯しない場合は、ご購入先にお問い合わせください。

マニュアルの問題点

6130 アレイと 6140 アレイの現在の『ご使用の手引き』に記載されているソフトウェアのインストール手順は、『Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアインストールマニュアル』に取って代わります。アレイの設置手順については、引き続き『ご使用の手引き』を参照してください。Common Array Manager ソフトウェアのインストール、ブラウザインタフェースへのログイン、および sscs CLI のマニュアルページについては、『Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアインストールマニュアル』を参照してください。

ローカライズ版の障害管理用メッセージが機能しない

バグ 6468818 - ローカライズ版の障害管理用の (エラー) メッセージは提供されていません。すべてのローカライズ版で英語版のメッセージが表示されます。

ヘルプに記載されているプロファイルのセグメントサイズを使用できない

バグ 6442690 - Common Array Manager のプロファイルの作成に関するオンラインヘルプでは、8K バイトのセグメントサイズのオプションについて記載されていません。8K のセグメントサイズは、ほかの問題が原因で製品から削除されたため、使用できません。

ドメインと上級機能

Common Array Manager オンラインヘルプでは、6140 アレイの 8 ドメインのデフォルトについて説明されています。6140 アレイのデフォルトドメインについての記述はありません。通常、ドメインはアレイの販売用の工場出荷時の構成に組み込まれています。購入時のドメインの割り当ては、次のようにすることができます。

- 6140-2Gb: 4、8、16 ドメイン
- 6140-4Gb: 4、8、16、64 ドメイン

ドメインおよびその他の上級機能には、「ライセンス」が必要です。ドメインや上級機能の追加ライセンスは、Sun 販売店からいつでも購入できます。

ローカライズ版の問題点

この項では、ローカライズ版に関する既知の問題点 (バグ) と注意事項について説明します。

Windows で、Java Web Console がローカライズされていない

バグ 6442523 - Windows にインストールできる Java Web Console のローカライズ版はありません。そのため、Common Array Manager のローカライズ版は Windows サーバーで使用できません。

回避策 - Windows サーバーでは英語版の製品を使用してください。

ASCII 以外の文字が CLI コマンドでサポートされていない

バグ 6447044 - ASCII 以外の文字は、CLI コマンドでサポートされていません。

回避策 - アレイやボリューム名、および CLI アプリケーション内では、ASCII 文字を使用してください。

アレイ名またはボリューム名に疑問符がある

バグ 6445930 - アレイ名またはボリューム名で ASCII 以外の文字を使用すると、これらの文字が複数のページで疑問符として表示されます。

回避策 - アレイ名、ボリューム名、またはそのほかのデバイスやコンポーネントの名前には ASCII 文字だけを使用します。

ASCII 以外の文字がサポートされていない

バグ 6448835 - 一部の入力フィールドでは ASCII 以外の文字を使用できません。これらの文字は複数のページで疑問符として表示されます。

回避策 - サイト情報やそのほかのテキスト入力フィールドでは ASCII 文字だけを使用します。

運用に関する情報

この節では、ほかのマニュアルでは説明していない運用に関する役立つ情報を示します。

Firefox と Mozilla のブラウザのセッション情報の共有

同じマシン上の Firefox および Mozilla ブラウザは、Common Array Manager URL を示す場合、複数のタブまたは、ブラウザ画面においてセッション情報を共有します。たとえば、Common Array Manager にログインしていて、ほかのブラウザインスタンス、または同じ URL を示すタブを開く場合には、同じユーザーセッションを経由してアクセスすることになるため、再度ログインする必要はありません。Common Array Manager の「現在のログイン」フィールドが有効なため、別のログインのための新しいウィンドウは開きません。

別のユーザーセッションを要求する場合は、異なるプロファイルを定義するか、別のマシンからログインします。これは、Microsoft Internet Explorer ブラウザでは起こらないため、これを利用して新しいセッションを開くこともできます。

CLI を使用してアレイのインポートを実行しているときは、管理オブジェクトを変更しない

「アレイのインポート」ジョブの実行中に管理オブジェクトを作成すると、インポートを妨害する可能性があります。インポート先アレイを使用しているユーザーが、インポートの進行中にオブジェクト (ボリューム、イニシエータ、マッピングなど) を変更または作成しないようにしてください。

リリースマニュアル

次は、Sun StorageTek Common Array Manager 関連のマニュアルの一覧です。Part No. の末尾に *nn* が付いている場合は、最新版を使用してください。

内容	タイトル	Part No.
CLI コマンドリファレンス	Sun StorageTek Common Array Manager sscs (1M) CLI Quick Reference	819-7038- <i>nn</i>
インストールと初期構成に関する問題点	Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアインストールマニュアル	819-7081- <i>nn</i>

また、Common Array Manager ソフトウェアにはオンラインヘルプと CLI コマンドのマニュアルページも含まれます。

アレイのハードウェアの情報については、そのアレイの『ご使用にあたって』および、ハードウェアインストールマニュアルを参照してください。

オンラインマニュアルは <http://www.sun.com/documentation> で検索できます。

ファームウェアファイル

この節では、Common Array Manager 5.0 に含まれるファームウェアファイルの一覧をアレイの種類ごとに示します。

ファームウェアファイルは次のように名前が付けられています。

- CRM-F/ - コントローラのファームウェア
- CRM-F-NVSRAM/ - コントローラの NVSRAM (Non-Volatile System Random Access Memory) のファームウェア
- IOM/ - FC SBOD (Switched Bunch of Disks) 入出力モジュール (IOM) のファームウェア
- DISK/ - ディスクドライブのファームウェア

ファームウェアファイルの各ディレクトリにはファームウェアイメージを示す `image.fw` というリンクと、ファームウェアイメージのバージョンを含む `baseline.txt` というテキストファイルがあります。Sun StorageTek 6540 アレイと 6140 アレイの SATA ドライブのファームウェアは工場出荷時にインストールされるので、ここには示しません。

表 6 に、このリリースに含まれる StorEdge 6130 アレイのファームウェアファイルを示します。これらのファイルは /var/sadm/swimages/117856-35 にあります。

表 6 6130 アレイとディスクのファームウェア

タイプ	バージョン
CRM-F-NVSRAM	N2822-612843-008
CRM-F	06.12.27.10
DISK/HDS7240SBSUN400G	KFAOAC7A
DISK/HUS1014FASUN146G	2A08
DISK/HUS1073FASUN72G	2A08
DISK/MAT3073FSUN72G	1203
DISK/MAT3147FSUN146G	1203
DISK/MAT3300FSUN300G	1203
DISK/MAU3073FCSUN72G	1003
DISK/MAU3147FCSUN146G	1003
DISK/ST314680FSUN146G	0407
DISK/ST373307FSUN72G	0407
DISK/ST373453FSUN72G	0449
DISK/ST314670FSUN146G	055A
DISK/ST314685FSUN146G	042D
DISK/ST314695FSUN146G	0409
DISK/ST330000FSUN300G	055A
DISK/ST373207FSUN72G	055A
DISK/ST373454FSUN72G	042D
DISK/ST373554FSUN72G	0409
IOM-F	9631
IOM-S	9726

表 7 に、このリリースに含まれる StorageTek 6140 アレイのファームウェアファイルを示します。これらのファイルは /var/sadm/swimages/120337-11 にあります。

表 7 6140 アレイとディスクのファームウェア

タイプ	バージョン
CRM-F-NVSRAM	N399X-616843-010
CRM-F	06.16.81.10
DISK/HUS1014FASUN146G	2A08
DISK/HUS1073FASUN72G	2A08
DISK/MAT3073FSUN72G	1203
DISK/MAT3147FSUN146G	1203
DISK/MAT3300FSUN300G	1203
DISK/MAU3073FCSUN72G	1003
DISK/MAU3147FCSUN146G	1003
DISK/ST314670FSUN146G	055A
DISK/ST314680FSUN146G	0407
DISK/ST314685FSUN146G	042D
DISK/ST314695FSUN146G	0409
DISK/ST330000FSUN300G	055A
DISK/ST373207FSUN72G	055A
DISK/ST373307FSUN72G	0407
DISK/ST373453FSUN72G	0449
DISK/ST373454FSUN72G	042D
DISK/ST373554FSUN72G	0409
IOM	9865

表 8 に、このリリースに含まれる StorageTek 6540 アレイのファームウェアファイルを示します。これらのファイルは /var/sadm/swimages/121540-02 にあります。

表 8 6540 アレイとディスクのファームウェア

タイプ	バージョン
CRM-F-NVSRAM	N6091-616843-005
CRM-F	06.16.81.10
DISK/HUS1014FASUN146G	2A08
DISK/HUS1073FASUN72G	2A08
DISK/MAT3073FSUN72G	1203
DISK/MAT3147FSUN146G	1203
DISK/MAT3300FSUN300G	1203
DISK/MAU3073FCSUN72G	1003
DISK/MAU3147FCSUN146G	1003
DISK/ST314670FSUN146G	055A
DISK/ST314680FSUN146G	0407
DISK/ST314685FSUN146G	042D
DISK/ST314695FSUN146G	0409
DISK/ST330000FSUN300G	055A
DISK/ST373207FSUN72G	055A
DISK/ST373307FSUN72G	0407
DISK/ST373453FSUN72G	0449
DISK/ST373454FSUN72G	042D
DISK/ST373554FSUN72G	0409
IOM	9865

サービスに関するお問い合わせ先

この製品のインストールまたは使用に関する不明な点については、次の URL を参照してください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

Sun 以外の Web サイト

このマニュアルで紹介する Sun 以外の Web サイトが使用可能かどうかについては、Sun は責任を負いません。このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料についても、Sun は保証しておらず、法的責任を負いません。また、このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、商品、サービスの使用や、それらへの依存に関連して発生した実際の損害や損失、またはその申し立てについても、Sun は一切の責任を負いません。

付録 A

Windows へのユーザーの役割の追加

この付録では、Windows でユーザーを作成し、それらを権限グループに割り当てる方法について説明します。作成したユーザーは、Java Web Console にログインして Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアにアクセスできます。

この付録は次の節で構成されています。

- [25 ページの「管理者ユーザーの追加」](#)
 - [29 ページの「新しいユーザーの追加」](#)
-

管理者ユーザーの追加

Sun StorageTek Common Array Manager ソフトウェアの初期インストールには、Windows の管理者権限を持つユーザーが必要です。

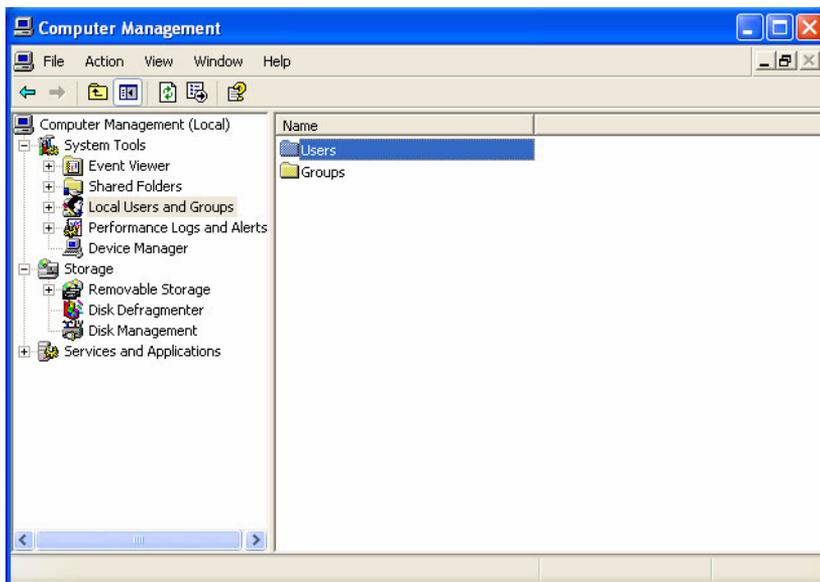
このあとの手順では、標準の Windows XP で管理者ユーザーを設定する例を示します。Windows ソフトウェアのそのほかのバージョンでは手順が異なる場合があります。詳細は、Windows のマニュアルを参照してください。

この例では、Windows の管理者権限を持つ root ユーザーを設定します。通常、root は Unix で使用する役割です。Windows で root ユーザーの概念を使用することで、ストレージの管理者の役割をプラットフォーム間で統一できます。

1. 「スタート」をクリックし、「管理ツール」->「コンピュータの管理」を選択します。

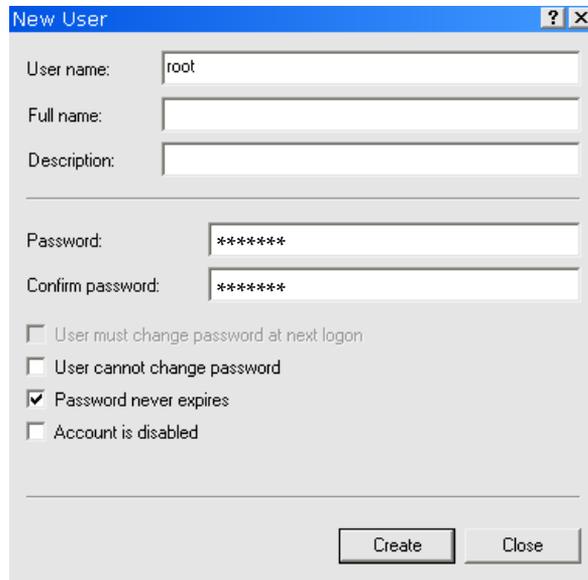
「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されます。

2. 「コンピュータの管理」ウィンドウで「ローカルユーザーとグループ」->「ユーザー」を選択します。

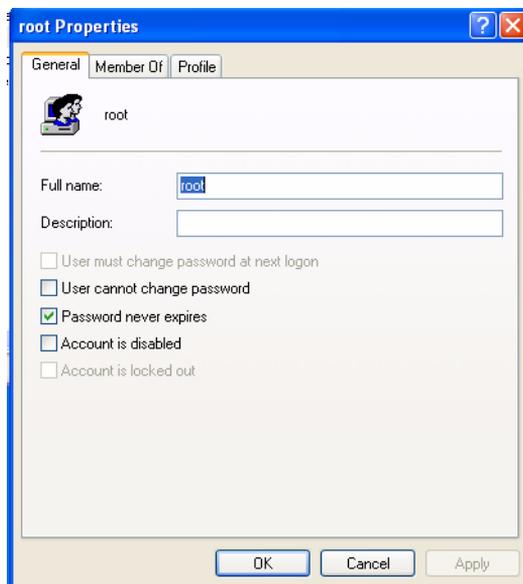


3. 右クリックして「新しいユーザー」を選択します。

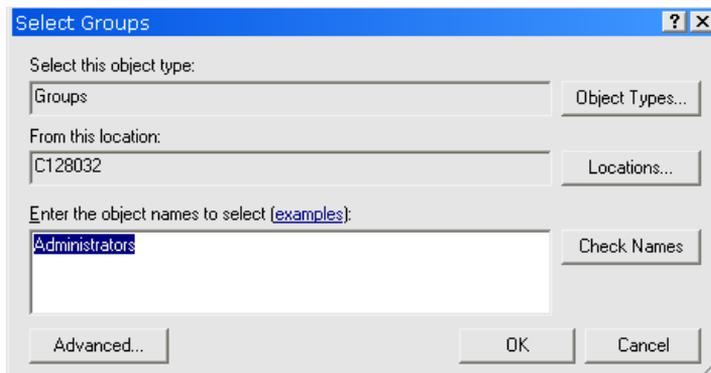
「新しいユーザー」ウィンドウが表示されます。



4. 「新しいユーザー」ウィンドウで次の設定を行います。
 - a. 「ユーザー名」ボックスに「root」と入力します。
 - b. パスワードを作成し、確認のために再入力します。
 - c. 「ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要」チェックボックスの選択を解除します。
 - d. 「パスワードを無期限にする」チェックボックスを選択します。
 - e. 「作成」をクリックします。
「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されます。
 - f. 「ユーザー」を選択し、「root」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
「root のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



5. 「所属するグループ」タブを選択します。
6. 「追加」を選択します。
「グループの選択」ウィンドウが表示されます。



7. 「選択するオブジェクト名を入力してください」ボックスに「Administrators」と入力し、「名前を確認」をクリックします。

システムで <コンピュータ名>\Administrator グループが「選択するオブジェクト名を入力してください」ボックスに表示されます。

8. 「OK」をクリックします。

「root のプロパティ」ウィンドウに、root が「Users」グループおよび「Administrators」グループに所属することが表示されます。これで、root ユーザーに Windows の管理者権限が割り当てられました。

注 – 管理ホストソフトウェアを実行するサーバーで安全性を維持するには、はじめてログインするときに root のユーザー名とパスワードだけを使用します。最初のログイン後に 1 人以上のユーザーを作成し、storage グループに割り当てます。storage の役割は、ユーザーの追加や変更を含むすべての管理機能を実行できます。

新しいユーザーの追加

Windows では、storage ユーザーとそのほかのユーザーが必要です。これらのユーザーを設定するには、[25 ページの「管理者ユーザーの追加」](#)と同じ手順に従いますが、root を<ユーザー名>に置き換え、役割 Administrator を storage に置き換えます。

注 – Windows の管理者ユーザーは、ユーザー名に空白文字を含めないでください。Windows の管理者ユーザー名に空白文字があると、あとでシステムエラーが発生する可能性があります。

完了したら、「<ユーザー>のプロパティ」ウィンドウの「所属するグループ」タブで、ユーザーが Users グループと storage グループに割り当てられていることを確認します。

